

警戒レベルと避難のタイミング

気象庁や市区町村から出される情報

住民がとるべき行動

警戒レベル

5

災害発生情報 (市区町村が発令)

警戒レベル5相当情報※

- 洪水** 氾濫発生情報
大雨特別警報 (浸水害)
- 土砂災害** 大雨特別警報 (土砂災害)

命を守るための最善の行動をとる

- すでに災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。
- ※災害発生情報は、市区町村が災害発生を把握した場合に発令される。必ず発令されるわけではないことを理解する。

警戒レベル

4

避難勧告、避難指示 (緊急) (市区町村が発令)

警戒レベル4相当情報※

- 洪水** 氾濫危険情報
- 土砂災害** 土砂災害警戒情報

全員が避難する

- 洪水・土砂災害など、予想される災害に対応した指定緊急避難場所へ速やかに立ち退き避難しましょう。
- 避難場所までの移動が危険だと思われる場合は、近隣の安全な場所への避難や、自宅内の少しでも安全な場所へ移動して身の安全を確保しましょう。
- ※避難指示 (緊急) は、地域の状況に応じて緊急的、または重ねて避難を促す場合等に発令される。避難勧告が発令された後に、必ず発令されるものではないことを理解する。

警戒レベル

3

避難準備・高齢者等避難開始 (市区町村が発令)

警戒レベル3相当情報※

- 洪水** 氾濫警戒情報 / 洪水警報
- 土砂災害** 大雨警報 (土砂災害)

高齢者等は避難を始める

- 避難に時間がかかる要配慮者 (高齢者、障がい者、乳幼児など) とその支援者は指定緊急避難場所への立ち退き避難を開始しましょう。
- その他の人は避難の準備を整えましょう。防災気象情報などに注意し、自発的に避難を開始しましょう。

警戒レベル

2

注意報 (気象庁が発表)

避難行動を確認する

- 避難に備え、ハザードマップなどで避難行動を確認しておきましょう (避難場所や避難経路、避難のタイミングなど)。

警戒レベル

1

早期注意情報 (気象庁が発表)

災害への心構えを高める

- 最新の防災気象情報に注意するなど、災害への心構えを高めましょう。

※警戒レベル相当情報とは

住民等が避難を判断する際に参考にできる情報であり、ここでは主な例を記載している。警戒レベル相当情報が出されたとしても、必ずしも同じ時間、同じ区域に同じレベルの避難勧告等が発令されるとは限らない。例えば、土砂災害の警戒レベル4相当情報が発表された後に、洪水の警戒レベル3相当情報が発表されるなど、異なる災害について、異なるレベルの情報が発表される場合がありうることに注意が必要。